

肺炎球菌ワクチンのご案内

肺炎は、日本の高齢者の死亡原因の上位を占める病気です。その原因菌で最も多い「肺炎球菌」から身を守るため、これまでは「23価ワクチン（ニューモバックス）」という種類が公費（定期接種）で使われてきましたが、2026年4月1日より、より高い効果が期待できる新しい「20価結合型ワクチン（プレベナー20）」へと全面的に切り替わりました。

種類	プレベナー20 (PCV20)	キャップバックス (PCV21)	ニューモバックス (PPSV23)
接種回数	1回のみでOK	1回のみでOK	5年ごと
特徴	国が推奨。強力で長持ちする	自費だが、今一番広く守れる	広く浅く。効果が切れる。
自費価格	¥11,000	¥15,000	¥8,388
自治体の補助あり(対象年齢あり)	¥3,500	(なし)	(なし)
副反応	痛み、赤み、腫れ倦怠感)、頭痛、筋肉痛、関節痛、軽い発熱。ほとんどが軽度～中等度で、2～3日で自然に治ります。		

📌 あなたはどっち？【タイプ別】これからの接種方法

① これまでに一度も肺炎球菌ワクチンを接種したことがない方

★**1** 今年度「65歳」になる方（または60～64歳で心臓や呼吸器に重い持病がある方）：
定期接種（公費助成あり）の対象です。新しくなった「プレベナー20」を1回接種します。
市区町村から届く案内をご確認ください。

★**2** すでに66歳以上で、まだ一度も打っていない方：

任意接種（全額自己負担、一部自治体で独自助成あり）となりますが、新しい「プレベナー20」または最新の「キャップバックス」ワクチンを接種して予防することをおすすめします。

② 過去に一度でも肺炎球菌ワクチンを打ったことがある方

これまでに定期接種などでワクチンを打ったことがある方は、原則として今回の公費（定期接種）の対象からは外れます。

ただし、前回の接種から「1年以上」あいていれば、さらに高い予防効果を得るために、新しいワクチン（プレベナー20またはキャップバックス）を自費（任意接種）で追加接種することが可能です。
ご希望の方は医師にご相談ください。